

## 第 2 回伊野町・吾北村・本川村合併協議会 新町名称検討小委員会会議録

【日 時】 平成 1 5 年 5 月 8 日（木） 午後 2 時 ~ 午後 3 時 0 8 分

【場 所】 吾北村中央公民館 2 階大ホール

### 【出席者】

小委員会委員

	伊野町	吾北村	本川村
学識経験者	長崎 謙	岡林 富男	山中 治
”	片岡 幹夫	欠 席	森川 森次

事務局

本山 博文	氏原 憲明	別役 理佳
土居内淳一	天野 里香	北川 博章
津野 加奈		

傍聴人 1 人（うち報道関係者 1 人）

### 【欠席者】

小委員会委員

川村奈央

【 1 開会 午後 2 時】

事務局長：第 2 回新町名称検討小委員会の開会を宣告。

【 2 委員長あいさつ】

委員長：2 月 2 8 日に開催しました第 1 回の小委員会では新町名称の募集要項を決定し、それに基づいて新町名称の公募を開始した結果、3 町村の住民の方から 2 6 3 件 8 6 種類の新町名称のご応募を頂いた。

本日の小委員会では、5 月の協議会に報告する新町の名称候補を選ぶわけであるが、新町の名称については、合併の協定項目のなかでも、住民の関心が非常に深いものであるので、各委員の皆様には、十分にご協議を頂き、この小委員会に与えられている新町にふさわしい名称候補を選ぶという役割が果たせるようお願いして挨拶を述べる。

【 3 会議録署名委員の指名】

委員長：会議録署名委員の指名を行う。

吾北村岡林富男委員、本川村森川森次委員を指名し、よろしく願います。

【 4 議 題】

委員長：本日の出席委員は、5 人で、当小委員会の委員数 6 名のうち 3 分の 2 以上の出席で、伊野町・吾北村・本川村合併協議会小委員会設置規程第 5 条第 2 項の規定により小委員会の成立を宣言。

同規程第 5 条第 3 項の規定により、委員会の会議の議長は、委員長が務めることを了承願う。

委員長：議題に移る。

報告事項「( 1 ) 公募結果について」事務局から説明をさせる。

土居内班長：新町名称の公募期間、応募総数、応募方法、町村別応募状況、応募名称の種類について、資料に基づき順次説明する。

委員長：質問はないか問う。

委員：質問なしの声多数。

委員長：次に協議事項、新町名称候補の選定方法及び選定作業について事務局から説明をさせる。

土居内班長：新町名称候補の選定方法について( 案 )に基づき、選定基準、選定方法について説明する。

第 1 次選考で各委員それぞれ 5 点を選定、第 2 次選考で、1 次の候補の中から委員の合議により候補 5 点以内を選定し、小委員会の選定理由を付し、5 月協議会報告する旨説明する。

委員長：質問はないか問う。

片岡幹夫：5 点の選定については、1 点のみではなしに、必ず 5 点選定しなければならないか問う。

土居内班長：事務局案としては 5 点だが、各委員さんのお考えで、3 ~ 4 点の選定でも問題はない。

委員長：その点については、柔軟にお願いしたい。

山中治：5つを選ぶのであれば、順位を決めて書いても良いのではないかと思う。

土居内班長：1次選考で残ってきたものの中から、合議で5つ以内に絞って協議会へ提出をすることになる。

片岡幹夫：候補にあげた1番目、2番目には明確な選定理由があるが、その他についても理由を記さねばならないか問う。

土居内班長：別段かまわない。

委員長：新町名称の候補について、新町名称候補の選定方法に基づき選ぶことに異議がないか諮る。

委員：異議なしの声多数。

委員長：異議なしと認め、暫時休憩とし、各委員は、その間に事務局が配布する新町名称候補選定用紙にご記入を頂き、事務局に提出をお願いする。

事務局の集計が終わり次第再開する旨宣告。

#### 【 休憩 午後2時14分～午後2時44分】

委員長：休憩前に引き続き再開を宣告。

事務局から集計結果について報告をさせる。

土居内班長：第1次選考結果について報告する。

「伊野町」5票、「いの町」5票、「新伊野町」3票、「仁淀川町」3票、「吾伊川町」2票、「土佐伊野町」2票、「彩色の町」1票、「大国町」1票、「清流町」1票、「いくよ町」1票、「採水町」1票となっている。

選定理由は記載のとおり。

委員長：第2次選考を行う旨宣告。

先ほどの各委員の投票により第1次選考に残った11点の中から、委員の合議により名称候補5点以内を選定する。どの名称が新町の名称としてふさわしいと考えるのが各委員のご発言を求める。

岡林富男：「伊野町」は、知名度、伝統も高いが、吾北、本川では吸収合併されたという印象を受けるから、同じ伊野町でも合併して新しいイメージで平仮名書きの「いの町」という村民の声が強かったように思う。

その他に、「仁淀川町」という声も聞いた。

森川森次：5点ということだが、どうしても5点選ばなければならないか問う。

土居内班長：小委員会では、5点以内ということなので、11点の内、5点以内であれば何点でもよい。

5月の協議会に小委員会報告をした後、全体協議会で選定することになる。

森川森次：ここでは、順位は考えなくても良いか問う。

土居内班長：小委員会として、新町名称候補の中で、この名称がよいというものがあれば意見を付して報告してもかまわない。

山中治：町名を決めるうえで、伊野町が一番ふさわしいと思うが、例えばその後に大字吾北とか大字本川というふうに町名を付ければ、それぞれ旧名が残るので良いのではないかと思う。

委員長：町、字の区域の取扱いについてはどうなっているか。

事務局長：町、字の区域の取扱いについては、6月の協議会に提案することを考えている。

大字を変更するには知事の認可が必要となるので、例をあげて6月にお示しするようにする。

山中治：旧名が残るような方法でお願いしていきたい。

委員長：全体協議会へ出ずにあたって、小委員会であえて5つを選定するという事になれば、どれがよいか委員に問う。

片岡幹夫：上位から順はどうか。

委員長：岡林委員からの発言もあったが、合併して新しいまちのイメージが湧くようにしなければならないと思う。

吾北、本川の方にすれば吸収合併と受け取られかねないので、そのことを十分に配慮して検討していかなければならない。

協議の結果、協議会に報告する名称候補は、上位からの5点で異議ないか諮る。

委員：異議なしの声多数。

土居内班長：「吾伊川町」と「土佐伊野町」は同数であるので、再度、協議をお願いしたい。

片岡幹夫：上位5つということだったが、5つ以内ということなので上から4つということではどうか。

委員長：それで協議会に報告することに異議がないか諮る。

委員：異議なしの声多数。

土居内班長：協議会へ小委員会の意見として付さなくても良いか、協議願う。

山中治：新たになるという意味では、同じ「いのちょう」でも平仮名がよいと思う。

片岡幹夫：漢字の「いのちょう」が公募の中でも多くの支持を得ている。

委員長：小委員会として、新町の名称は、4つの名称候補の中でも「いのちょう」が望ましいという意見で一致したが、「伊野町」は、公募で多くの支持があり、古くから紙の町として全国的に有名であることから望ましいという意見と、「伊野町」では、吾北村、本川村の住民が吸収合併されたという印象を受ける心配があり、また、新しい町になるという意味でも平仮名の「いの町」がよいという意見があったことを付して、新町の名称候補として、協議会に報告することに異議ないか諮る。

委員：異議なしの声多数。

委員長：閉会を宣告。

#### 【5 閉会 午後3時8分】

上記会議の顛末を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

署名委員

署名委員